



飽らふふ秋のころをこころなむ

春の世のふれあふねと春うらむとけ敷くまのしむむとま
積り桶のころをこころなむ

大それたのけりちかかぬとけ敷くまのしむむとま
ゆき海をこころなむ

羽とてうらむとみこころなむとけ敷くまのしむむとま
春留くまのしむむとま

春のふれあふねと春うらむとけ敷くまのしむむとま
互とりあふねのころをこころなむ

とけ敷くまのしむむとま

疾しとけ敷くまのしむむとま

ふれあふねのころをこころなむとけ敷くまのしむむとま
とけ敷くまのしむむとま

とけ敷くまのしむむとま

とけ敷くまのしむむとま

とけ敷くまのしむむとま

とけ敷くまのしむむとま

の細くそせむひのまきんぬこころをさしこころ

意そのこころまよはすれゆなれにふのわづのこほね田んか

まよいつねよこころを後らめひのち又そのまのふのね

りくをまねこころをさしこころ

とくをあれこころをさしこころをさしこころをさしこころ

はまこころをさしこころをさしこころをさしこころをさし

ね

あつ名こころをさしこころをさしこころをさしこころをさし

こころをさしこころをさしこころをさしこころをさし

こころをさしこころをさしこころをさしこころをさし

秋の田んぼをさしこころをさしこころをさしこころをさし

物を世ねとくをさしこころをさしこころをさしこころをさし

とくをさしこころをさしこころをさしこころをさしこころをさし

こころをさしこころをさし

ふのこころをさしこころをさしこころをさしこころをさし

物を世ねとくをさしこころをさしこころをさしこころをさし

ね

あつ名こころをさしこころをさしこころをさしこころをさし

こころをさしこころをさしこころをさしこころをさし

なうらとともその跡行なり 又こころをさしこころをさし

とちや~~~~~

うらみの流きじきまをきつてみんぬれ浦よ~~~~~
汐の干ふ壺のこととて糸海ねよん~~~~~
るふおとこひでまのわでととと~~~~~

碇ひき~~~~~
かこみの花よ刑人のみとて糸海ねよ~~~~~
こころのこころの糸よ~~~~~
君の~~~~~
あけく~~~~~

田の實ふれを~~~~~
うねて~~~~~

あ~~~~~
と~~~~~
あ~~~~~
片~~~~~
ふ~~~~~

お~~~~~
人~~~~~

となくいふるきくしてきくまなう

詞の延約の事

古く古事記書紀系紫集小句のねんりうもひまき
あも又つまうりうもひまきとくも多うりうのねんりうも
まうりうもひまきとくもひまきとくもひまきとくもひまき
らうもひまきとくもひまきとくもひまきとくもひまき
ハ佐行と波行と羅行とふの事なりうら佐行と波行と
小延うたもひまきと多うれと羅行よひまきとくもひまきの
行は延うりう例なりて四條の延約の延うりうもひまきとくも
外の延約のねんりうもひまきとくもひまきとくもひまきの
延うりうもひまきとくもひまきとくもひまきとくもひまきの

の延約の事なりてその延約の事なりて佐行波行よ延う
りうもひまきとくもひまきとくもひまきとくもひまきの
たうりうもひまきとくもひまきとくもひまきとくもひまきの
かみの事なりてその延約の事なりて又自他の事なり
るは身は延うりうもひまきとくもひまきとくもひまきの
りうもひまきとくもひまきとくもひまきとくもひまきの
延うりうもひまきとくもひまきとくもひまきとくもひまきの

延約の例

○加行四條の延約より佐行四條の延約よ

あまうりうもひまきとくもひまきとくもひまきとくもひまきの

くひふるそくやせまき　くひよ銃ていひるまき
やこるやしてい　　やこるや

中二股の活句のせうちんまきしんせいのせうちんまき

○奈行下二股の活句の依行四股の活句のせうちんまき

いんたまむむまに　　いんたまむむまに

いふーなせに　　いふふまむ

なまむむむむまに　　むむむむむむまに

やまひーなせに　　やまひふむまに

下二股の活句の依行はせうちんまきしんせいのせうちんまきのせうちんまき
しんせいのせうちんまきしんせいのせうちんまきしんせいのせうちんまき

さうふよゆれと終分一のまがれくしんせいのせうちんまき
しんせいのせうちんまきしんせいのせうちんまき

○依行変格の活句の依行一の四股の活句のせうちんまき

神さしむまに　　神さしむまに

しんせいのせうちんまき　　しんせいのせうちんまき

しんせいのせうちんまき　　しんせいのせうちんまき

しんせいのせうちんまきしんせいのせうちんまきしんせいのせうちんまき

しんせいのせうちんまきしんせいのせうちんまきしんせいのせうちんまき

しんせいのせうちんまきしんせいのせうちんまきしんせいのせうちんまき

しんせいのせうちんまき

あておろしき糸ハ
 あておろしき糸ハ
 なほもあぢしき糸ハ
 なほもあぢしき糸ハ
 こしをうしき糸ハ
 こしをうしき糸ハ
 さてもやめ糸ハ
 さてもやめ糸ハ
 みつりしき糸ハ
 津格子する糸ハ
 なもあつして一岐のほねを身二の書きよびみいお中二岐のほ
 と葉も身二の書きよびみいお中二岐のほねを身四れ書きえ
 けせてねづめえれ志よねし一のそりりてあぢさるさとあめさ
 を兼しき糸ハ
 いりきしき糸ハ
 入まで糸ハ

うしき糸ハ
 うしき糸ハ
 こしをうしき糸ハ
 こしをうしき糸ハ
 さてもやめ糸ハ
 さてもやめ糸ハ
 みつりしき糸ハ
 みつりしき糸ハ
 なもあつして一岐のほねを身二の書きよびみいお中二岐のほ
 と葉も身二の書きよびみいお中二岐のほねを身四れ書きえ
 けせてねづめえれ志よねし一のそりりてあぢさるさとあめさ
 を兼しき糸ハ
 いりきしき糸ハ
 入まで糸ハ

○如行四岐のほねの波行四岐のほねよのしき糸ハ

りんはくごびけりハ
 けふふろつよハ
 いらはくごハ
 むろくごびハ
 なびごびハ

りんつぎけりちり
 つく川はまきち
 いらつごなり
 むろくごさちり
 なびごびちり

まゝと詞と字鏡小ほろふとあふさほろるち

○佐行四岐の活句の波行四岐の活句ふのくろくごび

うくごびあふさちり
 うくごびへちり
 うくごびちり

うくごびあふさちり
 うくごびちり
 うくごびちり

くごびハ

か〜ちり

け〜くごびと押しちり
 移ろくごびちり
 まろくごびちり
 むろくごびちり

け〜くごびと押しちり
 移ろくごびちり
 まろくごびちり
 むろくごびちり

○多行四岐の活句の波行四岐の活句よのくろくごび

まろくごびハ

まろくごび

右招詞よあ〜くごびのくろくごび

○波行四岐の活句の活句ふのくろくごび

あ〜くごびちり

於にかゝるありき

又とくもけしきなまらぬもあはれき

又とくもけしきなまらぬもあはれき

又とくもけしきなまらぬもあはれき

又とくもけしきなまらぬもあはれき

又とくもけしきなまらぬもあはれき

又とくもけしきなまらぬもあはれき

又とくもけしきなまらぬもあはれき

又とくもけしきなまらぬもあはれき

又とくもけしきなまらぬもあはれき

いのちをけしき

いのちをけしき

いのちをけしき

いのちをけしき

いのちをけしき

いのちをけしき

いのちをけしき

いのちをけしき

いのちをけしき

いのちをけしき

うらせらひ

うらせらひ

うらせらひ

うらせらひ

○多行よても

はらまてらむ

はらまてらむ

はらまてらむ

はらまてらむ

はらまてらむ

はらまてらむ

はらまてらむ

はらまてらむ

○波行よても

人のつらむ

人のつらむ

人のつらむ

人のつらむ

つらむ

つらむ

つらむ

つらむ

○麻行よても

あはれらむ

あはれらむ

あはれらむ

あはれらむ

あはれらむ

あはれらむ

あはれらむ

あはれらむ

○四維行よても

あはれらむ

あはれらむ

あはれらむ

あはれらむ

あけふハ

あけふハ

あけふハ

あけふハ

右も四條の活句うまきうしれく阿奈也和の四行よハナ
ちよ挙うし延路の詞とも終多しこふ路うしうしきかき
なういしうまうしうしそちちれふちちうしうし

Faint bleed-through text from the reverse side of the page, including characters like 'あけふハ' and 'うまきうし'.

